

令和5年度 第8回政策推進会議報告

日時 10月20日 9時30分～10時30分

場所 WEB 会議室

出席者 20人

1 令和6年度人事異動及び昇任の基準について

総務局長から資料に基づき報告。（以下、質疑等）

- ・（都市整備局長）人事異動基準の部分で、中堅職員のマネジメント力を備えたゼネラリストとしてのキャリア形成が期待できる人材は、リーダーとしての指導力等を養うといった記載があるが、これはスペシャリストも含まれているという認識でいいか。というのも、スペシャリストをスペシャリストの部門のリーダーとして育成をしたいとも考えているため、役職者の登用にあたり差異がないかを確認したい。
- ・（総務局長）スペシャリストとして育成された職員を管理職に登用するということを否定するものではない。ただ、課長、部長、局長と上がっていくに従い、ゼネラリストとしての資質が求められてくると考えているため、リーダーとして必要な能力を身に着けるための人事異動は必要であると考えている。
- ・（森山副市長）最初のころは担当者として自分の領域をしっかりと勉強するものであるが、係長、課長になるにつれてゼネラリストとしての総合調整能力等が求められてくる。いかにスペシャリストの部門であったとしてもそういった能力は必要であり、そういった能力が認められる職員は登用していくということによいか。
- ・（総務局長）そのとおりである。
- ・（吹野副市長）今回の昇任基準、所属長等の求められる役割の中に、情報セキュリティを含めタスクマネジメントについて記載している。これはUSB 事案が起きてから、たびたび個人情報にかかわるような事故、事件が起きていることを受け、まだまだ情報セキュリティに関する意識が低いと考えているため、特に強調しているものである。そういった点にも今回特に意識して検討いただきたい。
- ・（市長）やはりこれからは共生社会、多様性の価値観を大事にしていくこと等がポイントであると考えているため、とりわけ女性職員の積極的な登用等、各部局で意識していただきたい。また、先ほどのスペシャリストとゼネラリストの話について、ジョブローテーションにとらわれない人事配置というのは当然であるが、一方で契約関係等、特定の職員に事務が集中してしまうことで必要以上に事業者との関係が濃くなりすぎるなど、弊害もあることから、管理職のマネジメントとして契約の際の手続きや、各種情報提供、情報共有の在り方などについては特に気を付けて運用していただきたい。

2 尼崎市みどりのまちづくり計画(素案)並びに素案に対する市民意見公募手続の実施について

都市整備局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・(教育長)非常にやさしく、やわらかい計画になったという印象を受けた。また、局内職員の意見を反映しながら計画を策定したと説明があったが、どのように進めたのか、今後の参考として聞かせてほしい。
- ・(都市整備局長)計画策定の初期段階から、構成も含め意見を聴取した。前回の計画は少し堅いイメージだという意見もあったため、できるだけわかりやすくしようとした。また、公園を一番よく使う子どもの意見が大事だということで、今回は12歳以下の子どもにもお父さんお母さんと一緒に回答していただけるようなアンケートを実施したものの。
- ・(森山副市長)これまでの緑の基本計画は公害都市であったこともあり、まずは量を増やすということを行ってきた。今回はその次の段階、量ではなく、質、中身を上げていこうということである。現状、実は使われていない公園が市内にたくさんある中で、使える公園、使われる公園にしていきたいということが今回の計画の肝である。
- ・(市長)今後、すべて同じような公園にするのではなく、例えば拠点となる公園にはインクルーシブ遊具を整備するなど、特色のある公園整備に向けても議論を進めているところである。これは公園のあり方だけではなく、近隣の教育施設、保育施設が使うことにも配慮したような遊具の整備という観点でも大事になってくると考えている。

また、市内各所にある子ども広場がなかなか使われていないという問題があり、管理の面からも大きな課題となっているが、これをどうしていくのか、改めて確認したい。加えて、学校の緑化も教育上非常に重要であると考えており、学校それぞれに特徴があるが、学校における樹木の管理については、校務員だけでは難しい部分がある。危険木の調査や撤去等も含めてこれから計画的に実施する必要があるが、こういった役割分担で実施するのか確認したい。

- ・(都市整備局長)まず、子ども広場については、本編の「適切な公園マネジメント」という部分、子どもの遊び場として都市公園を補完してきたものの、その役割を終えて使われなくなった子ども広場の廃止についても整理することとしている。次に学校木の管理については、学校の方からもそういった相談を受けている。必要な予算計上等については教育委員会で行っていただき、現場の管理については造園職の職員がアドバイス、フォローできる体制を組んでいきたいと考えている。

3 その他

- 総合政策局長から公開レッスンコンサート開催について説明。
- 総合政策局長から A-LAB Exhibition Vol.40 開催について説明。
- 安田教育次長から第1回あまがさきリレーマラソンについて説明。
- 安田教育次長から歴史博物館のデジタルアーカイブ公開について説明。
- 消防局長から昨日の阪急電車内で起きた事案について説明。
- 経済環境局長から農業祭開催について説明。